

## 「イノリツツ チヲイデニケリ」 池田 祥子

争つて氣高き色の大白鳥  
ボロ市や薪の匂いの白坐る

ゆさゆさとぎしぎしと花雨の中

眠りたし桜吹雪の眼裏に  
白神の秋陽を返す大風車

秋時雨異国語めきし津軽弁

野良猫の軒去らぬらし梅雨しとど

花葵むかし赤坂葵町

崖つぶち飛沫の届く鮎の川

青葉照るまつことヨブは信仰の人

子燕の寝しづまる闇やわらかく

曼珠沙華祈りつつ地を出でにけり

色鳥の重さが見える枝の先

アンネの家祈りの星の黄水仙

子育てに似し看取りなり虫時雨

鯉の骨パズルのごとく解く夜長  
降つていて空の明るさ春の雪

花屑を食む楼門の透かし竜

主婦の目に戻りて値切る市の茄子

上棟の紺足袋酔うて車座に

大屋根の鳴尾へ逆立つ新樹光

沼神の眼をしばたたく柳絮かな

コスモスの高さを帽子泳ぎゆく

佃煮へ梅の香の降る門前町

白神の水に浸して斧始め

マンボウの雲は悠々卒業歌

野鳥土手の起伏をなぞる覗蝶

チヤツキラコ小鳥の口で囁しおり

ほつほつと貝の息する大干潟

泰山木開きて宇宙までの距離